

# Scrum —スクラム—

平成 25 年 4 月 30 日  
平成 25 年 4 月号（第 25 号）  
東京都教育庁指導部  
義務教育特別支援教育指導課

## あいさつ

義務教育特別支援教育指導課長 安間 英潮

東京都教育委員会は、これまでの様々な教育改革の成果と課題、国の動向や今後予想される社会の変化等を踏まえ、東京都における新たな教育振興基本計画として、今般、「東京都教育ビジョン（第三次）」を策定しました。

本ビジョンは、学校、家庭、地域・社会が全体で、子供の「知」「徳」「体」を育み、グローバル化の進展など変化の激しい時代における、自ら学び考え行動する力や社会の発展に貢献する力を培うことを基本理念としています。

この理念の実現のためには、各学校が、子供たちの「確かな学力」の向上と、「豊かな心」と「健やかな体」の育成とを目指し、責任をもって生き生きと教育活動を展開するとともに、学校、家庭、地域・社会が、それぞれ適切な役割を果たしつつ、相互に連携して子供たちの教育に当たっていく必要があります。

また、「教育は人なり」と言われるように、学校教育は、教師と子供たちとの人格的な触れ合いを通じて行われる営みであり、その成否は、教師の資質や能力に負うところが極めて大きいと言えます。そうであるからこそ、教師一人一人の、不断の授業改善と指導力向上の取組が求められるのです。

東京都教育委員会では、今年度もメール・マガジン「Scrum—スクラム—」を発信します。都教育委員会が区市町村教育委員会や各学校としっかりと団結をして、各学校や先生方お一人お一人の取組を支援していきたいという願いを込めて有益な情報を発信していきます。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

## 目次

- 平成 25 年度の学力向上に関わる主な取組 ..... 2
- リーフレット「習熟度別少人数指導のポイント」を作成しました ..... 3
- 「理数教育の窓」— 理数好きの子供たちを育てるために — ..... 4
- 「道徳教育の窓」— 東京の子供たちの豊かな心を育む — ..... 5
- 「特別支援教育の窓」— 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して — ..... 6

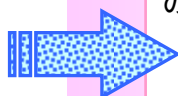
東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存知ですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、順次「学び応援ページ」に掲載します。

（東京都教育委員会ホームページアドレス

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

**学び応援ページを御活用ください！**



東京都教育委員会ホームページ・トップページ  
の下の方に、このバナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、[S9000024@section.metro.tokyo.jp](mailto:S9000024@section.metro.tokyo.jp) へメールを御送信ください。

# 平成25年度の学力向上に関わる主な取組

平成25年度が始まりました。東京都教育委員会では今年度も、児童・生徒一人一人の「確かな学力の定着と伸長」を目指し、授業改善や学習指導等に関する情報を配信して、学校や先生方の教育活動を支援します。今年度もメール・マガジン「Scrum」を、ぜひ御活用ください。

ここでは、平成25年度の学力向上に関わる主な取組を御紹介します。

## 児童・生徒の学力向上を図るための調査

今年度も「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施し、児童・生徒の学力向上に関する課題や学習のつまずきを明らかにするとともに、報告書やリーフレットの作成・配布及び説明会を通して、授業改善のポイントや学力の定着・向上に向けた指導事例等を紹介していきます。

- 個人票の作成による、児童・生徒一人一人の課題の把握
- 結果分析に基づく「授業改善のポイント」(報告書・リーフレット)の活用など

## 学力向上パートナーシップ事業

今年度からの新規事業として、「学力向上パートナーシップ事業」がスタートします。本事業は、都教育委員会と指定区市教育委員会とが連携して、重点教科(国語、又は算数・数学)を中心に、基礎的・基本的事項の定着に課題のある児童・生徒に対する効果的な指導方法の開発等を行うものです。詳細は、別号で御紹介する予定です。

- 中学校1校とその近隣の小学校2校程度からなる重点地区を都内8箇所に指定
- 2年間実施
- 研究協議会の開催による情報交換や指導方法等に関する検討など

## 東京ベーシック・ドリル

基礎・基本を着実に定着させるための教材「東京ベーシック・ドリル」を都教育委員会が作成し、配布します。

小学校4年生までの国語・社会・算数・理科の4教科の学習内容のうち、「これだけは身に付けさせたい」学習内容を中心にまとめた教材とし、ホームページにも掲載する予定です。

- 反復学習による基礎・基本の定着
- 児童一人一人の課題や学習のつまずきに応じた手だての工夫など



都教育委員会は、今年度も、児童・生徒の学びを支えるために、先生方と「Scrum」を組んでいきます。よろしくお願いします。

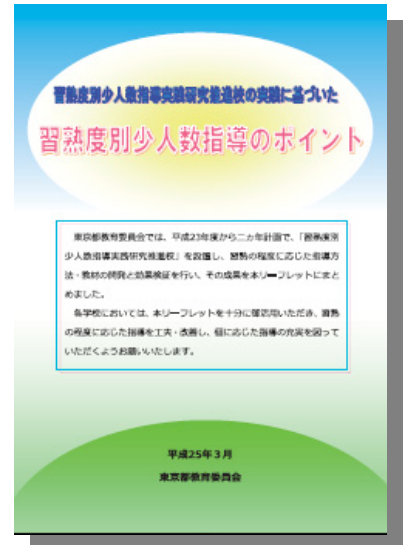
**確かな学力の定着と伸長へ**

# リーフレット「習熟度別少人数指導のポイント」を作成しました

都教育委員会では、平成23・24年度、「習熟度別少人数指導実践研究推進校」を設置し、習熟の程度に応じた指導方法・教材の開発と効果検証を行ってきました。

このたび、実践研究推進校9校による2年間の研究の成果をリーフレットにまとめ、都内公立小・中学校の全ての先生方に配布しました。

習熟の程度に応じた指導を工夫・改善し、個に応じた指導の充実を図るために、本リーフレットを、ぜひ御活用ください。



## 習熟度別少人数指導の充実のポイント

**◇ 基本的な考え方**

- ・ 個に応じた指導の充実を図るため、習熟度別少人数指導では、指導方法や教材、指導体制を共通理解・実践することが大切です。

◎ 児童・生徒一人一人の習熟の程度に応じたきめ細やかな指導を行うことにより、児童・生徒の学力の定着と伸長を図る。

○ 習熟度別少人数指導を実施するに当たって重要なことは、学校として「児童・生徒にどのような資質・能力を身に付けさせるのか」（目標）、「児童・生徒がどこで、どのようにつまづいているのか」（課題の把握）を明確にして、全教職員で共通理解し、その課題解決に向けた習熟度別少人数指導の工夫・改善に取り組むことが大切です。

**◇ 実態把握**

- ・ 「理解できていない」という状況を把握するのにとどまるのではなく、「何ほどの程度理解できていないのか」、「その要因」を把握することが大切です。

◎ 実態把握する資質・能力（観点）及びその内容を明確にして、多様な方法で情報収集を図る。

○ 多様な方法で、具体的に情報収集することが大切です。  
・ 観察、面談、児童・生徒の自己評価、ノート・作品、単元末・学期末テスト、意識調査（学習方法の適性等を含む）、都庁員の調査結果、レディネステスト、プレテスト 等

**◇ コース設定とグループ編成**

- ・ ガイダンス等を丁寧に行い、児童・生徒の自己評価能力を育み、自己選択できるようにしていくことが大切です。

◎ 実態把握した結果を基に、学習のつまづきの傾向を捉え、つまづきに応じた段階的指導を明らかにするとともに、習熟の程度に応じたグループ編成を行う。

○ 実態把握した結果を基に、児童・生徒一人一人との面談を通して、課題を明確にさせ、児童・生徒が習熟の程度に応じたコースを選ぶようにすることが大切です。  
・ 補充コース、基礎・基本コース、応用コース 等

**◇ 学習過程と教材**

- ・ 習熟の程度に応じた教材・教具等を工夫し、児童・生徒の学習意欲を喚起し、知的好奇心をゆさぶることが大切です。

◎ 各コース（習熟の程度）に応じて、〈課題把握〉〈自力解決〉〈集団検討〉などの各過程において適切な時間を確保するとともに、視聴覚教材や具体物、発展教材等を準備する。

○ 補充コースでは、〈課題把握〉や〈自力解決〉に、基礎・基本コースでは、〈集団検討〉に十分な時間を確保したり、応用コースでは、〈まとめ〉において、発展的な問題を提示したりすることが大切です。また、習熟の程度に応じて、具体から半具体・抽象へと教材を工夫することが大切です。

**◇ 評価**

- ・ 教員による評価だけでなく、児童・生徒の自己評価・相互評価の場面を、意図的・計画的に設定することが大切です。

◎ 学習過程の中で評価し、適宜、評価の結果を児童・生徒に伝えるとともに、単元の学習後の評価を指導計画の改善や授業改善及び次の学習の実態把握のための資料として活用する。

○ 評価の妥当性を高めるために、教員相互の共通理解を図ることが大切です。また、評価の信頼性を高めるために、児童・生徒、保護者への説明責任・結果責任を果たすことも大切です。

習熟度別少人数指導を充実させるためのポイントを、指導の展開に沿って挙げています。個に応じて、より効果的な指導を行うために、確認していただきたい内容です。

他にも、効果検証のデータや、効果的な習熟度別少人数指導を行うためのチェックリストも掲載しています。ぜひ御活用ください。



## 習熟度別少人数指導実践研究推進校と研究主題

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 足立区立千寿双葉小学校<br/>「習熟度に応じた指導法の工夫」</li> <li>● 武蔵野市立第三小学校<br/>「自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成」</li> <li>● 調布市立緑ヶ丘小学校<br/>「自ら学び、考え、表現できる子供の育成」</li> <li>● 東久留米市立第一小学校<br/>「自ら学ぶ児童の育成」</li> <li>● 武蔵村山市立第三小学校<br/>「学習意欲をもち、論理的に表現する児童の育成」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 墨田区立向島中学校<br/>「わかるできる授業づくり」</li> <li>● 中野区立第五中学校<br/>「生徒の特性を生かした習熟度別少人数指導の在り方の工夫」</li> <li>● 青梅市立第二中学校<br/>「生徒一人一人の学力向上を目指した習熟度別の少人数による学習指導」</li> <li>● 東久留米市立中央中学校<br/>「生徒の学力向上における指導・授業形態の工夫・改善」</li> </ul> |
|--|--|


# 「理数教育の窓」 — 理数好きの子供たちを育てるために —

## 身近な素材を活用して、関心を高める指導の充実を

児童・生徒に理科の学力を身に付けさせるためには、まず自然の事物・現象に関心をもたせることが重要です。

今回は、そのための方法として、児童・生徒の日常生活に関連した素材や身近なところにある素材を活用した指導事例を紹介します。授業で活用する素材については、地域や学校、児童・生徒の実態に応じて選ぶことが重要ですが、教材研究の参考にいただければ幸いです。

### 小学校 第4学年 A 物質・エネルギー（2）「金属、水、空気と温度」の指導事例



電車の冷房機器は天井に設置されていますが、暖房機器は座席の下に設置されています。このことからどのようなことが考えられるか、話し合ってみましょう。

暖房機器が座席の下にあった方が、車内全体の空気が温まりやすいのかな。

温められた空気が車内の下から上に動いていくとしたら、暖房機器が座席の下にあった方がいいね。

温められた空気がどのように移動していくのか、実験で調べてみたいな。

#### 《 展開例 》

##### 教師の発問

電車の暖房機器の位置から分かることを考えさせる。

##### 児童の活動

暖房機器の位置と空気の温まり方の関係について気付く。

暖房機器の位置から温められた空気の移動について予想する。

温められた空気の移動について関心をもち、意欲をもって調べようとする。

### 中学校 第1学年 第2分野（2）「大地の成り立ちと変化」の指導事例

多摩川の河川敷からクジラの化石が見つかっています。このことからどのようなことが考えられるか、話し合ってみましょう。

クジラの化石が見つかったということは、そこは昔、海だったということになるのかな。

そのクジラがいつ頃生きていたのかが分かれば、この場所が海だった時代が分かるね。

化石を調べることで、その地層ができた時代やそのときの環境が分かるんだね。化石について調べてみたいな。

#### 《 展開例 》

##### 教師の発問

地域で見つかった化石から分かることを考えさせる。

##### 生徒の活動

もっている知識を活用して、化石から分かることを考える。

化石からその時代や環境に関する情報を得ることができることに気付く。

化石について関心をもち、意欲をもって調べようとする。

# 「道徳教育の窓」

— 東京の子供たちの豊かな心を育む —

## 東京都道徳教育教材集 小学校版を配布

### ☆ 約 56 万人の児童に配布！

この4月に、小学校版第1・2学年版「心あかるく」、第3・4学年版「心しなやかに」、第5・6学年版「心たくましく」を都内公立小学校等の全ての児童、約56万人に配布するとともに、中学校の新入生約8万人に中学校版「心みつめて」を新たに配布しました（昨年7月に既配布）。

### ☆ 東京都教育委員会として初めて…！

東京都教育委員会として、都内公立小・中学校等の児童・生徒全員（現在、約80万人）に道徳教育の教材集を配布するのは初めてのことです。この「東京都道徳教育教材集」を活用し、道徳の時間だけでなく、学校の教育活動の全体を通して、子供たち一人一人が道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深めてほしいと思います。なお、教材集の特長等は以下のとおりです。

#### 「東京都道徳教育教材集」の開発の趣旨

小・中学校等における子供たちの道徳性を涵養する教育の一層の推進を目指し、世代を超えて継承させたい道徳的価値を子供の心に浸透させていくために、先人の格調高い言葉や崇高な行為などをまとめた東京都独自の道徳教育教材集です。

#### 「東京都道徳教育教材集」の特長

教材集が、…

- 児童・生徒の心に響くものであるよう
- 様々な教育活動で活用できるよう
- 教員一人一人の思いや意図に応じて活用できるよう

作成委員と東京都教育委員会で、検討に検討を重ねて作成しました。

#### ① 道徳教育 教材集です！

道徳の時間はもとより、他の教科等、学校の教育活動の様々な場面で活用できる、道徳教育の教材集として作成しました。

#### ② 児童・生徒が自分の生き方を考えることのできる教材集です！

先人の残した「名言・名句」「詩」等の言葉を暗誦したり、先人の伝記を題材にした読み物資料などを読んで話し合ったり、ワークシートに記入したりすることなどを通して、児童・生徒が自ら道徳的価値の自覚を深め、自分の生き方について考えることができるようにしました。

#### ③ 学校と家庭をつなぐとともに、家庭でも活用できる教材集です！

保護者が記入できるワークシートを活用したり、児童・生徒が保護者と一緒に読み、話し合ったりすることで、学校と家庭が連携して児童・生徒の道徳性を育むことができるようにしました。

### ☆ 「あ・し・た・みつめて」…！

小学校版のタイトルの頭文字一文字と、中学校版のタイトルの言葉をつなげると「あ・し・た・みつめて」となっています。

誰にとっても、実際に見たことも経験したこともない「あした」（＝未来）は、心がつくり出すイメージです。フランスの哲学者アランは、『悲観主義は気分のものであり、楽観主義は意志のものである。』との言葉を残しています。自分が、どのように「あした」をみつめるのか、どのような「あした」をつくり上げていくのか、それは、自分の「心」で決まると言ってもいいでしょう。

そうであるからこそ、正義感や公正さを重んじる心、生命を大切に作る心、他人を思いやる心など、児童・生徒の「豊かな心」を育むことが重要であり、それが「生きる力」の基盤となるのです。

# 「特別支援教育の窓」

— 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して —



## 新学期を迎えて

## 引継ぎはうまくできましたか？



～ 本人や保護者は、安心して新学期を迎えることができますか？ ～

◆学級担任が替わった時や、初めて学級を担当することになった時  
大切なことは『特別な支援を必要とする児童・生徒と  
良好なコミュニケーションを図ること』です。



でも、何をきっ  
かけにすれば  
いいのかな

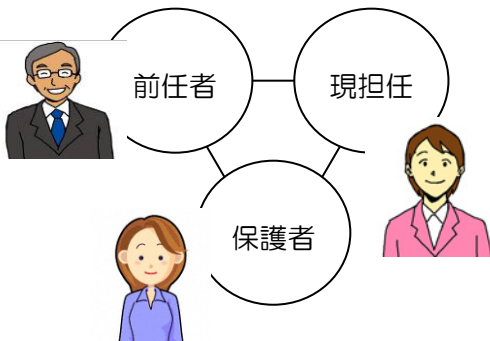
## ポイント

- 本人が好きなこと
  - 本人が得意なこと
  - 本人ができること
  - 本人が伸びたところ
- ◇話題にする  
◇学習活動に生かす  
◇ほめてあげる

ほめられることは、「心理的な安定」につながり、  
相手への「安心感」が生まれます。

☆ 良好なコミュニケーションのためには、絵カードや写真カードを使ったり、安心する言葉かけをしたりするなどの工夫を図ることが大切です。（特別支援教育の窓平成 25 年 3 月号参照）

◆個別の教育支援計画や個別指導計画を活用した引継ぎを行いましょ。



☆引継ぎの場面に保護者に参加してもらうことも大切です。

前任者との引継ぎに保護者の参加を求めることは、学校と保護者の連携強化と共通理解につながります。

また、指導内容・方法の工夫や指導の手立てが確実に引き継がれていることが伝わり、保護者も安心します。

保護者の参加が難しい場合でも、指導の工夫や手立ての引継ぎを受けていることを伝えるだけでも、保護者の安心感につながります。

個別の教育支援計画や個別指導計画を日々の指導に生かし、保護者と協力して児童・生徒一人一人の豊かな学校生活を支援しましょう。